

品名	Switch-M12G 5年先出しセンドバック保守バンドル商品	商品仕様書	401-26120B5-SP01
品番	PN26120B5		全10 No.1

1. バンドル商品について

本製品には、5年間の先出しセンドバック保守が同梱されています。
同梱されているサービスチケットに記載の約款に同意頂き、必要事項を記載し、
当社にメール、FAX等で送って頂くことにより当社で登録を行います。
登録完了後、先出しセンドバック保守が受けられます。
登録完了の通知はサービスチケットに記載頂いた保守連絡窓口の方にメールで連絡いたします。
※当社での登録完了後、サービスが開始されます。

2. 本製品の仕様について

本製品の機能等の仕様につきましては、
PN26120の商品仕様書（仕様書番号：401-26120-SP01）と同様です。

3. 付属品

- (1) PN26120に付属している付属品（2項の商品仕様書参照）1式
- (2) サービスチケット/約款 1枚
- (3) MNOシリーズスイッチサービスチケット登録までの流れ/本サービスご利用にあたって 1枚

作成日	平成 24年 1月 5日	e-ネットワークソリューション事業本部 ネットワーク商品事業部
改定日		

品名	Switch-M12G 5年先出しセドバツ保守バンドル商品	商品仕様書	401-26120B5-SP01
品番	PN26120B5		全10 No.2

1. 定格・環境条件

1-1. 定格入力電圧	AC100V、50/60Hz、2.0A
1-2. 消費電力	定常時最大43W、最小23W
1-3. 動作環境	動作温度範囲 0~40℃ 動作湿度範囲 20~80%RH (結露なきこと)
1-4. 保管環境	保管温度範囲 -20~70℃ 保管湿度範囲 10~90%RH (結露なきこと)
1-5. 適合規制	電磁放射 VCCI クラスA
1-6. 耐性	静電気放電 (ESD) : IEC61000-4-2 (10KV) 放射電磁妨害 : IEC61000-4-3 Level 2 電気的ファストトランジエントオバースト : IEC61000-4-4 Level 2 電気的サージ : IEC61000-4-5 Level 3 (AC line) 耐伝導ノイズ性 : IEC61000-4-6 Level 2 電源周波数イミュニティ : IEC61000-4-8 Level 4 瞬停/電圧変動 : IEC61000-4-11

2. 形状

2-1. 形状及び材料・色彩	添付商品仕様図による
2-2. 質量 (重量)	4,300g

3. 機能

3-1. ネットワーク接続	ツイストペアポート: RJ45コネクタ12ポート 伝送方式: IEEE802.3 10BASE-T IEEE802.3u 100BASE-TX IEEE802.3ab 1000BASE-T 伝送速度: 10/100/1000Mbps 全/半二重 適合ケーブル: ツイスト・ペア・ケーブル (EIA/TIA568カテゴリ-5E相当以上) 最大伝送距離: 100m オートネゴシエーション機能: 10Mbps, 100Mbpsまたは1000Mbpsおよび全二重 または半二重を相手に合わせて自動的に切り替えて動作 設定により10Mbps, 100Mbpsおよび全二重、半二重を固定可能 GBIC拡張ポート: 12ポート ツイストペアポートとの選択利用 オプション: 1000BASE-SX GBICモジュール (PN54011) 1000BASE-LX GBICモジュール (PN54013) LX40 GBICモジュール (PN54015)
3-2. 非同期端末接続	コンソール・ポート: 9ピンD-subコネクタ 1ポート 通信方式: RS-232-C (ITU-TS V.24) 準拠 エミュレーションモード: VT100 通信条件: 9600bps, 8bit, ノンパリティ、ストップビット 1

作成日	平成 24年 1月 5日	e-ネットワークソリューション事業本部 ネットワーク商品事業部
改定日		

品名	Switch-M12G 5年先出しセドバツ保守バンドル商品	商品仕様書	401-26120B5-SP01
品番	PN26120B5		全10 No.3

3-3. LED表示	<p>(1) 電源 LED (PWR) 緑点灯: 電源ON</p> <p>(2) 自己診断LED (STATUS) 緑点灯: システム正常稼働 橙点灯: システム起動中 橙点滅: システム障害</p> <p>(3) ポートLED</p> <p>G I G A (1~12ポート) 青点灯: 1000Mbpsでリンクが確立 青点滅: 1000Mbpsでパケット送受信中 消灯: 10, 100Mbpsで端末と接続、または端末未接続</p> <p>L I N K / A C T. (1~12ポート) 緑点灯: 100Mbpsでリンクが確立 橙点灯: 10Mbpsでリンクが確立 緑点滅: 100Mbpsでパケット送受信中 橙点滅: 10Mbpsでパケット送受信中 消灯: 端末未接続、または1000Mbpsでリンクが確立</p> <p>F U L L / C O L. (1~12ポート) 緑点灯: 全二重で動作 橙点灯: 半二重で動作 橙点滅: 半二重でコリジョン発生中 消灯: 端末未接続</p>
3-4. カスケード接続	すべてのポートがMDI/MDI-Xに自動的に対応 通信条件を固定に設定したポートは、MDI-Xになります。
3-5. 再起動	ソフトウェアから以下の2つのモードでリセット可能 (1) ウォームスタート (2) 工場出荷時に戻るリセット
3-6. エージェント仕様	<p>管理用プロトコル: SNMP V1/V2 (RFC1157) TELNET (RFC854) HTTP (RFC2616)</p> <p>ソフトウェア・ダウンロード用プロトコル: TFTP (RFC783)</p> <p>装備するMIB: MIB II (RFC1213) SNMPv2-MIB (RFC1907) IP-FORWARDING-MIB (RFC2096) RMON-MIB (RFC1757)</p> <p>(グループ1, 2, 3, 9) BRIDGE-MIB (RFC1493) P-BRIDGE-MIB (RFC2674) Q-BRIDGE-MIB (RFC2674) IF-MIB (RFC2863) RADIUS-AUTH-CLIENT-MIB (RFC2618) (RFC3621) IEEE 802.1X MIB IEEE 802.3ad MIB</p>
3-7. 初期設定	以下の方法によって管理用パラメータの初期設定が可能 (1) コンソール・ポートに接続された非同期端末からの設定 (2) Telnet接続した遠隔端末からの設定
3-8. スイッチの管理	以下の方法によってスイッチの管理が可能 (1) コンソール・ポートに接続された非同期端末からの管理 (2) TelnetとTCP/IPネットワーク接続を使用した 遠隔端末からの管理 (3) SNMPマネージャによる管理
3-9. その他	TFTP Client (ソフトウェアアップグレード、設定情報の保存・読込)

作成日	平成 24年 1月 5日	e-ネットワークソリューション事業本部 ネットワーク商品事業部
改定日		

品名	Switch-M12G 5年先出しセドバック保守バンドル商品	商品仕様書	401-26120B5-SP01
品番	PN26120B5		全10 No.4

4. スイッチ機能

4-1. スイッチ機能	スイッチング方式: ストア アンド フォワード スイッチング容量: 24.0Gbps パケット転送能力: 1,488,000pps/ポート(1000Mbps) 148,800pps/ポート(100Mbps) 14,880pps/ポート(10Mbps) MACアドレステーブル: 8Kエントリ/ユニット バッファ : 1Mバイト フロー制御 : 半二重時 バックプレッシャー 全二重時 802.3x エージング : 300~600秒(デフォルト値)
4-2. スパニングツリー	IEEE802.1D スパニングツリープロトコル互換 IEEE802.1w ラピッドスパニングツリープロトコル準拠
4-3. VLAN	IEEE802.1Q タギングVLANプロトコル準拠 ポートVLAN VLAN登録数 256個(デフォルトも含む)
4-4. リンク アグリゲーション	IEEE802.3ad リンクアグリゲーション機能サポート 最大6グループ構成可能(1グループ最大8ポート)
4-5. QoS	IEEE802.1p プライオリティキューイングをサポート(8段階)
4-6. ポートモニタリング	対象となるポートのトラフィック(送信、受信、送受信両方から選択)を指定したポートにコピーして送信可能
4-7. 認証機能サポート	IEEE802.1Xポートベース認証機能サポート (EAP-MD5/TLS/PEAP認証方式) MACアドレスベース認証機能サポート

5. Web管理機能

5-1. ファームウェア仕様	
5-1-1. ファームウェアバージョン	Boot Code: Ver.1.0.0.14以降 Runtime Code: Ver.2.0.5.34以降
5-1-2. 対応ブラウザ	Internet Explorer 6
5-1-3. 使用言語 及び 使用プロトコル	HTTP 1.1 HTML 4.0 Java RE 1.4
5-1-4. 文字コード セット	Shift_JIS

作成日	平成 24年 1月 5日	e-ネットワークソリューション事業本部 ネットワーク商品事業部
改定日		

品名	Switch-M12G 5年先出しセドバツ保守バンドル商品	商品仕様書	401-26120B5-SP01
品番	PN26120B5		全10 No.5

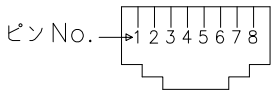
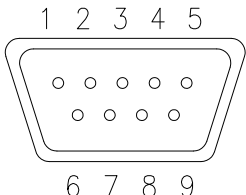
5-2. 設定機能	
5-2-1. スイッチング設定	<ul style="list-style-type: none"> ・管理情報設定 ・IP設定 ・SNMP設定 ・ポート設定 ・アクセス条件設定 ・ユーザ名/パスワード設定 ・FDB設定及び参照 ・SNTP設定 ・VLAN設定 ・Link Aggregation設定 ・ポートモニタリング設定 ・STP (スパンニングツリー)、RSTP (ラビッドスパンニングツリー) 設定 ・QoS設定 ・ストームコントロール設定 ・IEEE802.1X認証設定 ・IGMP Snooping設定 ・ポートカウンタ設定及び参照 ・ソフトウェアアップグレード設定 ・設定ファイルの保存/読込設定 ・再起動設定 ・システムログ ・設定情報の保存
5-2-2. メールレポート設定	<ul style="list-style-type: none"> ・メールサーバの設定 ・送信先アカウント(メールアドレス)の設定(最大3アカウント) それぞれにレポートの通知とトラップの通知を選択可能 ・送信元アカウント(メールアドレス)の設定 ・レポート間隔の設定 毎日、毎週、毎月のいずれか ・レポートの内容の設定 ポート情報、トラフィックサマリ、システムログ ・添付ファイルの選択 添付しない、CSV形式、テキスト形式のいずれか ・添付ファイルデータの設定 データ収集間隔 10分毎、30分毎、1時間、3時間、6時間、 1日のいずれか ログの内容 帯域使用率(%)、受信フレーム数、 ブロードキャスト、マルチキャスト コリジョン回数、エラー総数 ポート選択 ・設定後、テストメールを送信する
5-2-3. 時間設定	<ul style="list-style-type: none"> ・端末からの時刻データの転送による時計合わせ(時刻設定ボタン)
5-3. モニタ機能	
5-3-1. 基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ・システム情報の設定 :稼働時間(sysUpTime)の表示 詳細情報(sysDescr)の表示 管理者(sysContact)の表示 設置場所(sysLocation)の表示 ホスト名(sysName)の表示

作成日	平成 24年 1月 5日	e-ネットワークソリューション事業本部 ネットワーク商品事業部
改定日		

品名	Switch-M12G 5年先出しセドバック保守バンドル商品	商品仕様書	401-26120B5-SP01
品番	PN26120B5		全10 No.6

5-2-1. スイッチング ログ	<ul style="list-style-type: none"> ・ポート別の過去24時間の10分ごとのトラフィックの状態を表示。 表示内容は <ul style="list-style-type: none"> 時刻 帯域使用率(%) 受信フレーム数 ブロードキャスト マルチキャスト コリジョン回数 エラー総数
5-4. グラフィック機能	
5-4-1. ポート ステータス	<ul style="list-style-type: none"> ・本体をグラフィック表示し、LEDの表示状態をリアルタイムで確認可能 ・更新間隔：20秒
5-4-2. トラフィック グラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートごとのフレーム数、帯域使用率、コリジョン回数、エラー総数の いずれかをグラフ表示 ・過去10分間のデータを表示 ・更新間隔は20秒 ・各項目の切替はボタンで可能

6. コネクタ ピン配置

6-1. ポート1~12			
状態	ピンNo.		
MDI-X	信号	1 BI_DB+ 2 BI_DB- 3 BI_DA+ 4 BI_DA- 5 BI_DD+ 6 BI_DD- 7 BI_DC+ 8 BI_DC-	
MDI	信号	1 BI_DA+ 2 BI_DA- 3 BI_DB+ 4 BI_DB- 5 BI_DC+ 6 BI_DC- 7 BI_DD+ 8 BI_DD-	
6-2. コンソール・ポート			
ピンNo.	信号		
1	DTR	6	NC
2	TD	7	CTS
3	RD	8	RTS
4	CD	9	DSR
5	SG		

7. 設置方法・付属品

7-1. 設置方法	(1) 19インチラックへの取り付け
7-2. 付属品	<ul style="list-style-type: none"> (1) 取扱説明書 : 1冊 (2) CD-ROM : 1枚 (3) 取付金具 : 2個 (4) ネジ(取付金具固定用) : 8本 (5) ネジ(ラック固定用) : 4本 (6) ゴム足 : 4個

作成日	平成 24年 1月 5日	e-ネットワークソリューション事業本部 ネットワーク商品事業部
改定日		

品名	Switch-M12G 5年先出しセコパック保守バンドル商品	商品仕様書	401-26120B5-SP01
品番	PN26120B5		全10 No.7

8. GBIC拡張モジュール

8-1. 1000BASE-SX (品番: PN54011)	<p>光ファイバ・ポート: SCコネクタ</p> <p>伝送方式: IEEE802.3z : 1000BASE-SX</p> <p>伝送速度: 1000Mbps 全二重</p> <p>適合ケーブル: 光ファイバケーブル</p> <p>50/125μm マルチモードファイバ</p> <p>62.5/125μm マルチモードファイバ</p> <p>最大伝送距離: 50/125μm の場合550m</p> <p>62.5/125μm の場合220m</p>
8-2. 1000BASE-LX (品番: PN54013)	<p>光ファイバ・ポート: SCコネクタ</p> <p>伝送方式: IEEE802.3z : 1000BASE-LX</p> <p>伝送速度: 1000Mbps 全二重</p> <p>適合ケーブル: 光ファイバケーブル</p> <p>10/125μm シングルモードファイバ</p> <p>最大伝送距離: 10Km</p>
8-3. LX40 (品番: PN54015) (*1)	<p>光ファイバ・ポート: SCコネクタ</p> <p>伝送速度: 1000Mbps 全二重</p> <p>適合ケーブル: 光ファイバケーブル</p> <p>10/125μm シングルモードファイバ</p> <p>最大伝送距離: 40Km (*2)</p> <p>(*1) LX40を対向でご使用ください(通信速度1000Mbps)</p> <p>(*2) 光許容損失が-19dB以下でご使用ください</p>

作成日	平成 24年 1月 5日	e-ネットワークソリューション事業本部 ネットワーク商品事業部
改定日		

品名	Switch-M12G 5年先出しセドバツ保守バンドル商品	商品仕様書	401-26120B5-SP01
品番	PN26120B5		全10 No.8

9. 安全確保のための使用上の禁止事項

下記の項目を満足されていない場合のトラブルに関しては、責任を負いかねます。
本商品のご使用に際しては、以下の点を遵守ください。

- (1) 交流100V以外では使用しない
火災・感電・故障の原因となります。
- (2) ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電・故障の原因となります。
- (3) 雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れない
感電の原因となります。
- (4) この装置を分解・改造しない
火災・感電・故障の原因となります。
- (5) 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、はさみ込んだり、
重いものをのせたり、加熱したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- (6) 開口部から内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしない
火災・感電・故障の原因となります。
- (7) ツイストペアポートに10BASE-T/100BASE-T/1000BASE-T以外の機器を接続しない
火災・感電・故障の原因となります。
- (8) コンソールポートに別売のコンソールケーブルPN72002 DSUB9ピン-DSUB9ピンコンソール
ケーブル以外を接続しない
火災・感電・故障の原因となります。
- (9) 水のある場所の近く、湿気やほこりの多い場所に設置しない
火災・感電・故障の原因となります。
- (10) 直射日光の当たる場所や温度の高い場所に設置しない
内部の温度が上がり、火災の原因となります。
- (11) 振動・衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しない
落下して、けが・故障の原因となります。
- (12) この装置を火に入れない
爆発・火災の原因となります。
- (13) 必ずアース線を接続する
感電・誤動作・故障の原因となります。
- (14) 電源コードを電源ポートにゆるみなどが無いよう、確実に接続する
感電や誤動作の原因となります。
- (15) 故障時はコンセントを抜く
電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因となります。
- (16) 自己診断LED (STATUS) が橙点滅となった場合は、システム障害のためコンセントを抜く
電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因となります。
- (17) ツイストペアポート、コンソールポート、GBIC拡張ポートで手などを切らないよう注意の上取り扱う

作成日	平成 24年 1月 5日	e-ネットワークソリューション事業本部 ネットワーク商品事業部
改定日		

品名	Switch-M12G 5年先出しセドバツ保守バンドル商品	商品仕様書	401-26120B5-SP01
品番	PN26120B5		全10 No.9

10. 使用上の注意事項

- (1) 内部の点検・修理は販売店にご依頼ください。
- (2) 商用電源は必ず本装置の近くで、取り扱いやすい場所からお取りください。
- (3) この装置の電源を切るときは電源コードを外してください。
- (4) この装置を清掃する際は、その前に電源コードを外してください。
- (5) 仕様限界をこえると誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
- (6) RJ45コネクタの金属端子やコネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。静電気により故障の原因となります。
- (7) コネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグをカーペットなどの帯電するものの上や近辺に放置しないでください。静電気により故障の原因となります。
- (8) 落下など強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- (9) コンソールポートにツイストペアケーブルを接続する際は、事前にこの装置以外の金属製 什器等を触って静電気を除去してください。
- (10) 以下場所での保管・使用はしないでください。
(仕様の環境条件下にて保管・使用をしてください)
 - 水などの液体がかかる恐れのある場所、湿気が多い場所
 - ほこりの多い場所、静電気障害の恐れのある場所（カーペットの上など）
 - 直射日光が当たる場所
 - 結露するような場所、仕様の環境条件を満たさない高温・低温の場所
 - 振動・衝撃が強い場所
- (11) 周囲の温度が0～40℃の場所でお使いください。
また、この装置の通風口をふさがしないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり誤動作の原因となります。

作成日	平成 24年 1月 5日	e-ネットワークソリューション事業本部 ネットワーク商品事業部
改定日		

品名	Switch-M12G 5年先出しセドバツ保守バンドル商品	商品仕様書	401-26120B5-SP01
品番	PN26120B5		全10 No.10

1.1. 品質保証について

本商品の品質管理には最大の注力をいたしますが、

- (1) 万一、本商品の品質不良が原因となり、人命並びに財産に多大の影響が予測される場合には、本仕様書記載の特性・数値に対し余裕を持たれ、かつ二重回路等の安全対策を組み込んでいただくことを、製造物責任の観点からお勧めします。
- (2) 本商品の品質保証期間はお買上げ日より1年間とし、本仕様書に記載された項目とその範囲内とさせていただきます。本商品に弊社の責による瑕疵が明らかになった場合には、誠意をもって代替品の提供、または瑕疵部分の交換、修理を本商品の納入場所で速やかに行わせていただきます。

但し、次の場合はこの保証の対象から除かせていただきます。

- 1) 本商品の故障や瑕疵から誘発された他の損害の場合。
- 2) お買上げ後の取扱い、保管、運搬（輸送）において、本仕様書記載以外の条件が本商品に加わった場合。
- 3) お買上げ時までには実用化されている技術では予見することが不可能であった現象に起因する場合。
- 4) 火災、地震・洪水・火災・紛争など弊社に責のない自然あるいは人為的な災害による場合。

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。

お客様の取扱説明書に従わない操作に起因する損害および本商品の故障・誤動作などの要因によって通信の機会を逸したために生じた損害については、その責任は負いかねますのでご了承ください。

保証期間内でも次の場合には原則として無料修理対象外にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- (ロ) お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
- (ニ) 保証書の提示がない場合
- (ホ) 保証書にお買上げ日、お客様名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

作成日	平成 24年 1月 5日	e-ネットワークソリューション事業本部 ネットワーク商品事業部
改定日		